

医療専門学校水戸メディカルカレッジ

2023年度 学校自己評価

■自己評価の項目

自己評価は、以下の10項目とする。

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 教育理念・目的 | (6) 教育環境 |
| (2) 学校運営 | (7) 学生の受入募集 |
| (3) 教育活動 | (8) 財務 |
| (4) 学修成果 | (9) 法令等の遵守 |
| (5) 学生支援 | (10) 社会貢献・地域貢献 |

■評価項目に対する評価

評価は、4～1の点数とする。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■基準1 教育理念・目的

(1) 評価

評価項目		評価
a	理念・目的・育成人材像は定められているか	4
b	学校における職業教育の特色を示しているか	4
c	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
d	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- 理念・目的・育成人材像を明確に定め、学生便覧・学生募集要項・ホームページで明示している。
- 学科ごとに業界の現状を見定めながら、カリキュラム内容を検討している。また、各学科の職業教育の特色は、ホームページやオープンキャンパスで広く周知し、明確にしている。
- 教育理念や育成人材像については、オープンキャンパスや入学者説明会において、配布資料や学生便覧等を用いて学生・保護者に周知している。
- 地域・病院・施設の中で、組職・チームの一員としてどうあるべきかを方向づけることで、業界ニーズに対応している。

■基準2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
c	運営組織や意思決定機能は、明確化され、有効に機能しているか	4
d	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
e	各部門の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
f	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
g	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
h	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 学則の目的・教育理念に基づき、学校運営方針を定めている。
- b. 前年度の事業実績を参考に、運営方針を策定している。
- c. 運営組織や意思決定機能は明確化されている。
- d. 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備している。
- e. 各部門の組織は整備されている。各部門内での意思決定システムは、必要に応じて見直している。
- f. 学校に必要な規定は整備され、官公庁及び関係団体に関係する法令や基準を遵守し適正に運用している。
- g. ホームページやオープンキャンパスなどで教育活動について情報公開している。
- h. 成績管理システム「infoClipper」や情報共有システム「サイボウズ」を導入し、業務の効率化を図っている。

■基準3 教育活動

(1) 評価

評価項目		評価
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている	4
b	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
c	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
e	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
f	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
g	企業や専門家の意見、評価を受け、より実践的な能力を修得する機会が整備され	4

	ているか	
h	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
i	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
j	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
k	必要な場合は業界と連携して、人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
l	関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか	4
m	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定している。
- b. 教育到達レベルや学習時間の確保は、学科ごとにシラバスや時間割などで明示している。
- c. 指定規則及び資格取得に必要な条件に基づき、学科ごとにカリキュラムは体系的に編成している。
- d. 各学科及び科目担当講師が、実践的な職業教育の視点に立ち教育方法を工夫している。
- e. 実習施設等より現場の状況を踏まえたアドバイスをいただくことで、カリキュラム・教育内容に反映し、適切に見直している。
- f. 学外実習で実践的な職業教育を実施しているが、コロナ禍の影響が残り、一部の学外実習で計画変更が必要になった。
- g. 各学科の実習体系に基づき、実習指導者からの評価を受けることで、より実践的な能力を修得する機会を設けている。
- h. 授業評価は学期末に実施している。
- i. 成績評価・単位認定の基準は細則のなかで明確にしている。
- j. 教科外活動として国家試験対策を実施している。
- k. 主に専門科目は学内の専任教員が担当しているが、人材育成に向けて必要性がある場合は外部講師に依頼することで適切に対処している。
- l. 教員の専門性の高い知識・技能の修得のため、学外研修への参加を促進している。
- m. 教員のための資質向上・指導力向上のため、研修制度を整備している。

■基準4 学修成果

(1) 評価

評 価 項 目		評価
a	就職率の向上が図られているか	3
b	資格取得率の向上が図られているか	3
c	退学率の低減が図られているか	3
d	卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
e	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 早期から意識づけを行い、支援・指導を行ったが、言語聴覚療法学科において内定・就職に難渋した学生がいた。
- b. 昨年以上の結果を出すため、年度早期から国家試験対策を開始した。グループ学習や個別指導の方法を見直し、全体として昨年度よりは良い結果となったが、言語聴覚療法学科は全国平均を下回った。
- c. 学校全体として退学率は昨年度と同水準となった。入学直後から学生面談を実施し、早期から学習への取り組みに助言するなど、学生の状況把握に努めた。
- d. 現状では各教員が、個別に卒業生の動向を確認している。今後は、学校として卒業後の活躍を集約・把握していきたい。
- e. 卒業生が来校した際にキャリア形成に関する情報を得ている。今後は、アンケート調査を実施していきたい。

■基準5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
f	学生の生活環境への支扱は行われているか	4
g	保護者と適切に連携しているか	4
h	卒業生への支援体制はあるか	3
i	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
j	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 各学科の教員が協力し、進路・就職に関する支援・指導を行っている。
- b. スクールカウンセラーを配置し、メンタル面、学習面、生活面など各種相談に応じている。
- c. 特待生や学費の分割納入など、経済的に支援する学校独自の制度を整備している。
- d. 学校医、カウンセラー、教員が連携しながら学生を支援している。
- e. 課外活動は、希望者によるボランティア活動など、可能な限り支援している。
- f. 教員が学生の状況に応じて、健康相談、生活指導、学習相談など多岐にわたって学生支援を行っている。
- g. 保護者との定期的な面談の機会を設けている。長期欠席や学習困難な状況にある場合は、保護者・保証人と連携をとっている。
- h. 卒業生の就業相談に応じている。

- i. 社会人のニーズに応えるため、個別指導を積極的に行っている。
- j. 高校などのガイダンスに参加し、高校生にわかりやすく学校説明・学科説明を行っている。

■基準6 教育環境

(1) 評価

評 価 項 目		評価
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
b	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4
c	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	4
d	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 指定規則上必要となる施設設備や備品は整備されている。
- b. 実習時間数等は規定を満たしている。
- c. 実習室や図書室、サロン、グループワーク室を活用し、自主的に学習している。
- d. コロナ禍の影響が残り、予定していた防災訓練を実施できなかったが、必要な安全管理体制に関しては確認している。

■基準7 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評 価 項 目		評価
a	学生募集活動は、適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 学生の募集広報活動における内容や説明は、実績をもとに適切な判断材料を提供するよう配慮し、透明性、客観性をもった情報提供及び募集活動を行っている。
- b. 教育内容や成果について、パンフレットやホームページで説明し、最新の情報も随時発信している。
- c. 学費を含む、卒業までに必要な経費全てについて募集要項やオープンキャンパス、入学者説明会で明らかにすることで、透明性のある学費案内・説明を行っている。

■基準8 財務

(1) 評価

評 価 項 目		評価
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務について会計監査が適正に行われているか	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. ホームページに公開している財務諸表のとおり、学校の財務基盤は安定している。
- b. 予算の編成及び執行は適正に実施している。
- c. 会計監査は、関連法規により、公認会計士及び監事により適正に行われている。
- d. 財務情報については、ホームページに公開している。

■基準9 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目		評価
a	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
b	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
d	自己評価結果を公開しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 関連法令・施設設置基準を遵守し、適正な学校運営をしている。
- b. 規定に基づき、個人情報に関する誓約書や同意書を取り交わし、学生および教職員に周知している。
- c. 毎年、自己評価を実施し、改善に努めている。
- d. 学校自己評価結果については、その内容を学校関係者に開示し、意見を集約することで、改善に向けて取り組んでいる。また、ホームページに公開している。

■基準10 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目		評価
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
b	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
c	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 講堂や実習室を希望者に貸し出している。
- b. 実習施設からの依頼により、学生にボランティア活動を紹介している。
- c. 「こどもの発達障害対応支援事業」として言語聴覚士による『言葉の教室』を実施している。